

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：常磐保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：廣瀬 治良	定員（利用人数）： 150 名
所在地：岐阜市上土居814-1	
TEL：058-232-8695	ホームページ： https://chubufukushikai.jp//tokiwahoikuen/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成14年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：中部学院福祉会	
職員数	常勤職員： 16 名 非常勤職員 21 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長 1 名
	主任保育士 1 名
	事務主幹 1 名 事務員 2 名
	保育士 11 名 保育士 16 名
	栄養士 1 名
	調理員 1 名 調理員 3 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室 6室 遊戯室 1室 給食室 職員室 トイレ3

③理念・基本方針（※転載）

保育理念

「笑顔いっぱい 学びいっぱいの保育園」

基本方針

- ①子どもが安心して、笑顔で生活できる保育園
 - ・一人ひとりの子どもの健康及び安全の確保に努める。
 - ・子どもにとって望ましい保育の環境づくりに努める。
 - ・一人ひとりの子どもへの適切な関わりに努める。
- ②子どもの関心・意欲を大切にし、確かな力をつける保育園
 - ・保育内容の質を高め、指導の工夫を図る。
 - ・子どもの基本的な生活習慣の定着を図る。

・職員の資質の向上・専門性の向上を図る。

③家庭・地域等との連携に力を入れる保育園

・子ども・園の様子の積極的な情報発信に努める。

・家庭との連携・協働による子育てに努める。

・地域や大学、小学校等との連携に努める。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

・0～5歳児までの6年間で、人生100年を心豊かに、たくましく生きるための基礎づくりをするために、5つの力（①基礎的な生活習慣を身につける。②思い切り遊び ③友達と楽しく生活する。④自分の思いを表現する。⑤どんなことにも挑戦する。）が身につくように努めている。

・大学、短期大学の系列園として、大学等との連携を深めながら、より良い保育を求めて支援している。大学の教員等による音楽、運動指導にも力を入れ、保育士志望の学生も多数来園し、共に成長できる園として支援している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3 年 7 月 1 5 日（契約日） ～ 令和 4 年 2 月 1 0 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3 回（平成 2 8 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

当園は、先駆的に市の保育所民営化に取り組み、パイオニア的存在として、様々な困難を果敢に克服してきた。また、保育士養成課程を有する大学・短大の系列園としてのブランディング戦略を活かし、そしてブランドに恥じない保育を実践してきた経緯がある。まさしく、出藍の誉れのとえのごとく、独自の園運営を展開してきた。調査時にもその精神が脈々と受け継がれていることを感じ取れた。

園舎が立地する地域には、公園が多くあり、緑も多い。また、散歩コースには農道や小川があり、自然に恵まれた環境である。さらに、地域には小学校、農協、警察署、老人ホーム等の社会資源が点在する。その自然の恩恵や社会資源を保育に活用し、様々な園外活動や社会体験を通して子どもたちの好奇心や社会性を育てている。建物の古さは否めないが、その古き良さを引き出しつつも、給食室や遊戯室の充実化等、新たな設備整備や修繕を重ね、快適さを向上させてきた。保育室も安全に留意し、牛乳パックを利用した手作りコーナーを設置し、清潔かつ整理整頓がされている。

園の理念として「笑顔いっぱい、学びいっぱいの保育園」をめざすことを高らかに掲げ、子どもの強みや潜在能力を引き出し、これからの生きる力を養う保育に取り組んでいる。また、子どものエンパワメントを高める観点から、職員ワンチームとなって、子どもの主体性を育むべく、

子ども一人ひとりの発達に応じた保育を丁寧実践している。園を訪れた際に、職員のあいさつの礼儀正しさや子どもたちの生き生きとした活動の様子がとても印象的であった。その元気いっぱい子どもたちが昼食時に静かに黙食している様子にまた感心させられた。

系列校の保育士養成課程を有する大学・短大と連携しつつ、外部講師を招いて、英語あそび、音楽あそび、運動あそび等の特色あるプログラムを用意している。また、保護者支援計画を策定しており、保護者の多様なニーズに応じている。例えば、保育時間を午後8時まで延長保育を実施している。また、午後6時の軽食では、自園給食を活かし、おやつや軽食など手作りの食事が提供されている。

また、基本方針の中に「家庭・地域等との連携に力を入れる保育園」とあるように、現在は、コロナ禍の影響で制限的にならざるを得ない状況にあるが、地域の関係団体・機関との連携や地域の老人会、老人施設との交流活動、地域交流活動に力を入れるとともに、ニーズオリエンテッドな観点から、子育て相談、園庭開放、図書の貸し出し、授乳コーナー、子育て事業としての赤ちゃんステーション事業、ハッピーパパママ保育所体験事業、児童センターでのふれあい、ぴよぴよクラブとの交流等を通じて、地域の子育てニーズに積極的に対応している。

職員の人材確保については、この業界の共通の課題であるが、系列校との連携をはじめ、あらゆるチャンネルを活用した求人活動を行うとともに、ワーク・ライフバランスに配慮した処遇や職員教育体制の充実化により、職員の定着化に資するものとなり、さらには、職員エンゲージメントを高めるものとなっている。また、保育マニュアルその他各種マニュアルが整備されており、職員の保育の質の標準化とともに、コンプライアンス意識の向上につながり、ひいては園組織のガバナンス向上につながっている。

◇改善を求められる点

現在、業務のICT化の導入を予定している。このことは経営の効率化や事務の簡素化が可能になるとともに保育実践の時間の確保につながると考えるので、今後とも、さらなるICT化の推進に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

平成23・28年度に引き続いて3度目の第三者評価を受けること通して、本園の運営・保育の在り方を振り返る節目として職員全体で取り組んできました。今後も、この評価を活かしながら、保育士養成課程を有する大学・短大の系列園として、園の理念や保育目標の具現を目指した質の高い保育実践に心がけ、保護者や地域からさらに信頼される保育園づくりに全職員が一丸となって取り組んでいきたいとの決意を新たにすることができました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(常磐保育園)

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の理念は、「笑顔いっぱい、学びいっぱいの保育園」というわかりやすい内容で明文化している。また、理念を踏まえ、具体的な3つの基本方針を掲げ、明文化している。さらに、4つの園の保育目標を明文化している。理念等には当保育園の基本的な考え方や姿勢が示されている。理念や基本方針の職員への周知については、職員研修、職員会議を通して周知を図り、保護者への周知については、園内掲示、入園・進級のしおり、ホームページ等に明文化し、周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育に関わる制度動向等については、市担当課、所長会議、関係機関・団体からの情報提供や、各種研修への参加等を通して情報収集に努めている。経営状況については、会計事務所の指導や法人本部の助言を受けるとともに、職員会議や研修会で職員への周知を図り、経営強化に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>具体的な経営課題（保育環境、保育の質の向上、地域の子育てニーズへの対応、人材確保、教育研修、施設整備、地域貢献、財務状況、経営体質の強化等）を明確化し、課題改善に向けた取り組みを行っている。経営における会計事務所や法人本部の助言を受けて分析を行い、職員会議の開催等を通じて職員間で共有している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園を取り巻く経営環境、地域実態等を踏まえ、中・長期的観点から今後の制度動向等を睨み、ビジョンを明確に示した計画を策定している。事業計画は、園の課題や今後の方向性が読み取れる内容となっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画の策定は、中・長期計画を踏まえ、各年度単位に位置付けた事業計画を策定している。事業計画は、理念、運営目標や方針を示し、事業運営、施設整備、行事計画、食育計画、研修計画、保健安全計画、防災計画、保護者支援計画等、園運営全般に渡る現状と課題、改善に向けた実施計画を策定している。また、変化する保育・児童福祉ニーズに対応し、園の地域性や独自性を反映させたものになっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は、主担会や職員会議等での話し合いを通して、職員の意見をくみ上げ、策定しており、年度当初の職員会議や研修等での説明を通じて職員への周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者には、園長から保護者会で説明するとともに、具体的な内容や活動については、園内掲示、園だより等への掲載やホームページを活用した周知に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>自己評価表を活用し、毎年、定期的に職員間で自己評価を実施するとともに、保護者アンケートによる保護者評価を受けて、主担会や職員会議で分析・検討するとともに、定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>職員の自己評価・保護者評価や岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、主担会や職員会議での話し合いを通して、改善策を立案し、改善に活かしている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>職務分担表において園長の役割と責任について明文化し、職員会議や研修等の機会を捉えて、表明する等して周知を図っている。災害等の有事の際における役割については、防災訓練で役割を明らかにしている。また、園長不在時の指揮系統も明確化している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・㉑・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>今年度は、コロナ禍の影響により、研修会の開催が中止になる等、制限がある状況にあるが、例年、法令遵守に係る研修会に積極的に参加し、職員会議を通して職員への周知を促している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
<p>園運営に関する法令の範囲は幅広く、今後ますます法令の遵守が要請される。園長は、常にまだその途上にあるとする積極的な姿勢を持ち、目標を高く設定している。今後とも、さらなる職員のコン</p>		

プライアンス意識の向上に向けた取り組みに期待したい。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育方針に明文化された「運営の質の向上」を具体的に実践すべく、園長は、保育実践・園運営管理の両面からチェックを行うとともに、職員会議その他諸会議を通じて、課題の把握、評価分析を行い、積極的にサービスの質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。また、園長だより「ファミリーときわ」での発信や研修機会の充実を通して職員教育の推進に取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>園長は、人材定着や適正な職員配置に努めるとともに、ICT化の推進や書類の簡素化等の効率的な業務体制を推進する等、費用対効果を考えつつ、経費節減の業務改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育養成課程がある大学・短大を有する学校法人のグループ法人である強みを活かした人材確保に努めている。それに加えてハローワーク、保育士・保育所支援センター、職員紹介の活用も図る等、幅広く求人チャネルを拡充し、人材確保に努めている。また、OJT指導や相談体制づくり等、人材定着対策も強化させている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>人事考課については法人で客観的な人事考課基準を整備し、年間3回のフィードバック面談を設ける等、目標管理制度と連動した総合的な人事管理を行っている。また、職員それぞれのライフステージに応じたキャリアパスモデルを示しつつ、職員が自ら将来の姿を描ける様な仕組みづくりに取り組んでいる。</p>		

改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックし、把握している。また職員の希望や家庭状況を把握し、ワーク・ライフ・バランスに配慮した適切な就業環境作りに努めている。福利厚生については、岐阜県民間社会福祉事業者共済会に加入するとともに、健康診断や職員相談の実施等、充実した体制を確立している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育マニュアルに「期待する職員像」や「目指すべき保育のあり方」等について明示している。「自己啓発カード」を活用した目標管理制度を導入しており、年度当初に目標を設定し、期中・期末にフィードバック面接を実施し、達成状況の評価を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の年間研修計画が作成されており、園内研修や外部研修等、様々な研修体制が確立している。今年度は、コロナ禍の影響で、外部研修がW e b方式に変更される等、制限的な状況にある中でも、園内研修は積極的に実施されている。また、当園は大学・短大の附属幼稚園を持つ学校法人の系列であり、合同研修会も実施されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新人職員研修やO J T指導、階層別やテーマ別研修等、研修機会を充実させている。研修後は職員会議等での報告を通して職員全体に周知し、次の研修へ反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点：		

<p>保育養成課程がある大学・短大を有する学校法人の系列園であるが、園の使命として系列校だけでなく、幅広く積極的に受け入れを行っている。受け入れにあたっては、実習生受け入れマニュアルを整備するとともに、実習指導担当者を配置し、養成校と連携しつつ、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあたっている。今年度は、コロナ禍の状況にあり、対策をしながらの受け入れを行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページで施設概要、保育の内容、決算情報等、園運営に係る情報を幅広く公開するとともに、地域の公民館、児童センター等にパンフレットを配布する等して、運営の透明性の確保に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>ホームページで施設概要、理念や基本方針、保育の内容、決算情報等を公表しているが、財務諸表等については更新されていないので、最新版への更新に向けた取り組みに期待したい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>経理規程等を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。また、法人本部の財務担当の助言や公認会計士事務所の指導を受ける等して、適正な経営・運営に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本方針の中で、「地域や大学、小学校等との連携に努める」が明記されており、地域との関わりの基本姿勢を示している。地域の様々な社会資源と連携するとともに、地域との関係を大切にしながら地域性を活かした保育活動を行っている。コロナ禍の影響で縮小・中止した活動もあるが、各種行事交流を通じて、広く地域交流に取り組んでいる。また、地域の老人施設、老人クラブ、小学校等との交流を行っている。</p>		

改善できる点/改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>ボランティアの受け入れについてはマニュアルを整備し、基本姿勢を明確にしている。現在は、コロナ禍の影響で制限的にならざるを得ない状況にあるが、例年、実習生のボランティア、絵本の読み聞かせのボランティアや老人会等の地域ボランティアを受け入れている。また、中学校の職場体験の受け入れ等、学校教育への協力を行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>地域の関連機関（市担当課、子ども相談センター、保健センター、エールぎふ、嘱託医、消防署、地域の小中学校等）や、地域の関係団体（自治会、老人クラブ、民生児童委員等）との連携が密に行われている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>地域の福祉ニーズについては、地域交流活動、園見学や園庭開放、図書貸出、子育て相談等の活動を通して、地域の子育てニーズの把握に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>地域の子育ての拠点施設として、地域の子育てニーズに応じて、園庭開放、相談事業、保育の出前講義、地域交流等に加えて、地域の一時避難所として地域防災に協力している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
--	---------

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「子ども理解」と「寄り添う保育」をキーワードにして、子どもの人権を尊重する保育に重点を置き、職員会議等を通じて全職員の意識向上に取り組んでいる。また、保育マニュアルをもとに子どもの人権の尊重について学びを深め、園内研修等を通じて職員に周知徹底を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どものプライバシー保護については、保育マニュアルの中で記述されており、職員会議や研修実施等を通して職員への意識づけを図るとともに、日常生活場面において適切な支援に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページで園の概要、保育内容や取り組み等を掲載したり、パンフレットで説明したりする等、保育所選択に資するようわかりやすく情報提供している。また、園見学等の要望にも積極的に対応している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園時や年度当初の学級懇談会に、パンフレットや入園のしおり等を用いてわかりやすく説明している。また、ホームページ上で保育内容等について、詳しく掲載して周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>転園に際しては、退園についてマニュアルに明記し、子どもの生活が途切れることのないようサービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に児童要録を送付し、子どもの育ちの継続が保障されるようにしている。保育終了時にその後も相談が可能であることを説明している。</p>		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎年、保護者アンケートを実施し、保護者満足度の把握に努め、その集計結果を職員会議で検討するとともに、連絡帳でのやり取り、送迎時の声かけ、園行事やクラス懇談会等、様々な機会を捉え、保護者の意向把握に努め、保護者の意見や要望を職員会議で分析し、園運営に活かしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情解決の体制を整備しており、苦情受付窓口、第三者委員等、苦情解決の仕組みについて園内に掲示するとともに機会を捉えて説明する等して、保護者への周知に努めている。意見や苦情を受け付けた場合、苦情解決マニュアルに沿って職員会議で検討し、速やかに対応するとともに、改善に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時の際の声かけに心がける等、保護者とのコミュニケーションに努めている。また、空室を活用して意見を述べやすいスペースを確保する等、相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日頃から積極的に保護者と関わり、気軽に意見を聞けるような関係づくりに心がけている。寄せられた意見に対しては、対応マニュアルを整備し、迅速対応に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>危機管理に関するマニュアルを作成し、迅速な対応手順を定めるとともに、リスクマネジメントに</p>		

<p>関する委員会として保健安全給食委員会を設置し、研修を実施している。また、ヒヤリハット事例を記録し、職員会議等で検討する等、事故の発生予防に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 感染症対応マニュアル等を整備し、研修を実施する等して予防に努めている。また、園内掲示版に感染症に関する情報を掲示し、保護者への周知を図っている。今年度も引き続き、コロナ禍の状況にあるので、新型コロナウイルス感染予防対策を強化している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 園長は、地域防災訓練に参加する等、災害時に向けた地域連携に取り組んでいる。防災マニュアルを整備し、職員周知を図り、毎月、避難訓練の実施を通して職員の防災意識を高めている。地震対策として設備の落下防止措置を講じ、備蓄や自家発電を準備する等して災害に備えている。また、保護者や職員の一斉緊急メール送信システムを整備するとともに、緊急時引き渡し方法についても訓練している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 全体的な計画の中の保育方針に「保育内容の質を高め、指導の工夫を図る」が明文化されているとともに、保育マニュアルの中で、子どもの人権尊重やプライバシー保護についても明記されており、各種マニュアル類の整備や職員研修を通じて保育の質の標準化に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 園には保育マニュアルをはじめ、各種マニュアル類が整備され、ファイルに整理されている。各種規程、各種マニュアル類について、随時、見直しを行う等、サービスの標準化に取り組んでいる。また、マニュアルを踏まえて、保育計画を毎年、振り返り、次年度編成に反映させている。</p>		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの心身状況、成育歴、生活状況や家庭状況等を把握するため、園で統一したアセスメント様式を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりのニーズをクラス懇談会、送迎時の声かけ、連絡帳等で把握している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画の見直しについては、職員間で課題を共有し、職員会議で評価・分析し、定期的に、または必要に応じて随時、見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもに関する記録については、個別記録に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況、保育の経過等が記録されている。職員会議等で各種記録の情報を共有するとともに、保育マニュアルをもとに記録の標準化に努めている。今後、記録のICT化の推進に向けた取り組みを予定している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>記録管理について保管・保存・廃棄に関する規程を定め、厳重に管理するとともに、保育マニュアルの中で、子どもの記録管理について明確化し、職員会議等を通じて個人情報保護の意識を高めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		